



Beyond KUSS , 2022 !!



先輩たちの状況(その2)

◆◇◆ 国公立大学特別選抜(その2) ◆◇◆

7回生は特別選抜により、東京大学をはじめ10大学に19名が合格しています。受験者は50名でしたので合格率は38.0%です。一般選抜は受験者145名、合格者46名、合格率31.7%です。「特別選抜は一般選抜よりも合格可能性が高いから、出願しなければならない」と焦る人がいるとすれば、この差が要因かもしれません。

省略

上表は7回生の特別選抜受験者・合格者を男女別・類型別に「K値」の状況を示しています。「K値」は2回の共通テスト模試の平均値をもとに算出しています。今回の自己採点結果が参考になると思います。

国公立大学特別選抜は、一定レベル以上の「受験学力」を有したうえで、大学が求める一定レベルの「探究型学力」を有する場合、合格となります。大学は「探究型学力」と「受験学力」の両方を受験生に求めています。右表を見れば、「受験学力」が一定レベル以下の受験生は不合格になっていることがわかります。「受験学力」が一定レベル以上でも合格率が上昇しているわけではないこともわかります。「探究型学力」と「受験学力」の両方を受験生に求めていることを示しています。

難関国立大学は、「探究型学力」と「受験学力」以上に「志望力」を受験生に求めています。「志望力」は「この大学で学びたい」という気持ちです。大学は特別選抜で「志望力」の高い、そして優秀な受験生を求めています。少々優秀な部分があったとしても、「志望力」の低い受験生は、合格できないことが大半です。これが一般選抜と特別選抜の最大の違いです。国公立大学特別選抜、8回生の多くが志望する難関国立大学では、「学びのリーダー」や「学びの核」となる学生確保のため、特別選抜を実施しています。一般選抜では大学の先生方が受験生の「探究型学力」や「志望力」を判断する余地はありません。特別選抜では大学の先生方が受験生の「探究型学力」や「志望力」を判断することができます。「この学生と学びたい」、「この学生ともっと研究したい」と大学の先生が感じる受験生が合格に近づいていきます。「志望力」なくして合格はありません。

「特別選抜に出願しなければならない」と焦る人は、受験全体が混乱してしまう可能性が高いです。特別選抜を考えている人、自分の「志望力」を見直しましょう。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS , 2022 !』の内容について、SNS等 web へのアップや無断使用しないようお願いします。